

会議議事録(要旨)

会議名	令和7年度第1回 宝塚市自立支援協議会 障害福祉基金活用検討会	場所	宝塚市役所第二庁舎 会議室AB
		開催日時	令和7年7月18日(金) 14:00 ~ 16:00
出欠者	出席者:委員18名(委員総数20名) 事務局2名 見学7名		
議題	内容		
経緯説明	<p>【障害(がい)福祉基金について】 障害(がい)福祉基金条例にて、障害(がい)者が将来にわたって安心して暮らせる社会の実現に資するために障害(がい)福祉基金を設置。令和元年から毎年2億7千700万円を積み立てしている。</p> <p>【障害(がい)福祉基金の成り立ち】 昭和34年に創設された宝塚市身体障害者年金条例等を前身に市民福祉金制度が設立。当時は所得補償など、国の社会保障制度の補完の目的で開始。その後各種年金制度の充実、福祉医療費助成制度や、障害福祉サービスの充実など障害(がい)福祉制度の整備を図ってきた。近年は住み慣れた地域で安心して暮らすための地域資源の整備を求める要望など障害(がい)施策を取り巻く課題やニーズも大きく変化してきた。それにより、市民福祉金を個人への一律的な金銭支給から障害(がい)ある方全体にとってより必要とされる施策への転換が求められ、安心して生活できるように必要となる施策の財源として基金を積み立て活用していくこととした。障害者団体に対しては、平成29年度に各団体からの要望をもとに作成した代替施策案を提示。市民福祉金の廃止とともに、基金を創設し、基金を活用した事業を順次実施してきた。代替施策として上がっていた総合的な施設整備については、場所や運営方法などの課題から実施には至っておらず、数年が経過する中でニーズの変化も見られたことから、改めて代替施策を検討していくことの了承を得た。 宝塚市の財政の見通しや状況の悪化、民生費における障害福祉サービスの年々増加している状況についても説明を行った。</p> <p>【障害(がい)福祉基金の現状について】 毎年2億7千700万円を積み立て、代替施策に基金を活用してきた。令和6年度の決算見込み額として、14億ほどの基金残高があった。昨年度末、市の財政状況の悪化も踏まえ、令和7年度以降はこれまでどおりの新規・拡充事業への基金充当が困難なことを障害者団体に説明し、令和7年度は、既存事業へ充当することの了解を得ることができた。 今年度6月市議会にて障害(がい)福祉基金を活用した補正予算を提案した。積立額2億7千700万円とし、既存事業も含めたとりくずし額2億6千500万円ほどを提案したところ、今年度においては2億7千700万円を積み立てるべきではないとの意見があった。</p>		
スケジュール	全4回の会議を10月までに実施する予定。課題整理をし、緊急性・必要性・実現可能性等の観点から委員の意見を出し合い、可能であれば、費用(初期・継続)を試算した上で施策化も可能な範囲で行っていく。その結果について、市長報告を行う。市長と市民との対話で障害(がい)福祉基金について広く意見を求めていく。		
協議事項・課題共有	<p>実現に至っていない「総合的な障害者福祉施設整備」について、ショートステイ機能や避難所機能、会議室、スポーツ・交流スペースなどを備えた拠点として整備することも検討できるのではないかなど他市事例(西宮市のふれぼの)も参考に意見を述べられた。積極的な施策化への再検討として、土地確保や既存の未使用地の活用についての意見もあった。</p> <p>障害(がい)者の避難における、災害時の課題や、避難所のバリアフリー対策、高齢障害(がい)者の避難対応など災害時に備えた機能整備の必要性や、医療的ケアの方への対応する設備の不足について緊急性の高い課題も多く挙げられた。</p> <p>精神障害者へのバス料金助成が未整備であること、生活困窮世帯への支援制度の拡充、障害者記念事業への費用助成の必要性も挙げられた。</p> <p>また、相談支援・計画相談における人材不足が大きな課題として共有された。相談員の育成には3～5年が必要であり、一人の離職が即運営に支障をきたす現状もあることから、継続雇用支援や育成研修への助成や、経験者においても、制度的なサポートと職場環境の整備が重要ではないか、ITシステムの導入、奨学金制度や大学・専門学校との連携案も提案された。介護・看護・ヘルパー人材の資格取得費用の負担、夜間や休日の人材不足、制度的制約などが課題として挙げられ、ソフト面への重点的投資を求める意見があった。</p> <p>福祉サービスにつながない障害(がい)者へのアプローチ(訪問支援や周知活動)、定期的なケース会議の開催、親なき後の備えに向けた包括支援の必要性も述べられた。加えて、親子で同時に入居できる施設の整備や、高齢化した家族への支援制度の創設も検討事項として共有された。</p>		